



**JASDAQ**

2020年6月16日

各 位

会 社 名 株式会社 FHT ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 楊 曉軍  
(コード：3777、JASDAQ)  
問合せ先 取締役経営企画管理本部長 森蔭 政幸  
(TEL. 03-6261-0081)

## (訂正)「特別損失の計上に関するお知らせ」に関する一部訂正について

2020年5月29日付「特別損失の計上に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社は、2019年12月期(2019年1月1日～2019年12月31日)において、特別損失を計上することといたしましたが、一部に訂正がありましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には下線を付しております。

### 記

#### 1. 訂正の理由

当社は、中国におけるヘルスケア事業を推進するために、2019年5月28日に上海蓉勤健康管理有限公司と栖霞市东明置业有限公司を子会社化し、これに伴い同社を連結の範囲に含め、当該事象によるのれんの増加額を、当第4四半期連結累計期間において502,871千円としておりましたが、2020年5月29日の2019年12月期決算短信公表後の、2019年12月期決算の監査期間中に、当該事象についてのれんの増加額等に誤りがあることが判明したため、関連するのれん償却額及び減損損失額等を訂正するものであります。

#### 2. 訂正の内容

##### 1. 特別損失の内容

###### 【訂正前】

当社は次のとおり減損処理を行い、減損損失623,978千円を特別損失として計上することといたしました。

###### 【訂正後】

当社は次のとおり減損処理を行い、減損損失632,749千円を特別損失として計上することといたしました。

##### (2) ヘルスケア事業関連資産の減損損失

###### 【訂正前】

当社は、中国におけるヘルスケア事業を推進するために、2019年5月28日に上海蓉勤健康管理有限公司と栖霞市东明置业有限公司を子会社化しました。これに伴い、同社を連結の範囲含め、当該事象によるのれんの増加額は、当第4四半期連結累計期間においては502,871千円としておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大により、中国経済の先行きに不安要素が多数見受けられ、当社の中国におけるヘルスケア事業について不透明な事象が多いため、当該のれん及びその他の固定資産について減損処理を行い、減損損失503,165千円を特別損失として計上することといたしました。

【訂正後】

当社は、中国におけるヘルスケア事業を推進するために、2019年5月28日に上海蓉勤健康管理有限公司と栖霞市东明置业有限公司を子会社化しました。これに伴い、同社を連結の範囲含め、当該事象によるのれんの増加額は、当第4四半期連結累計期間においては511,642千円としておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大により、中国経済の先行きに不安要素が多数見受けられ、当社の中国におけるヘルスケア事業について不透明な事象が多いため、当該のれん及びその他の固定資産について減損処理を行い、減損損失 511,936 千円を特別損失として計上することといたしました。

以 上